

令和6年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	11	議席 番号	11	氏名	佐野和彦 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	富士根地区の耕作放棄地から農業団地へ	<p>静岡県では農地集積、集約化を加速させるため農地バンク（農地中間管理機構）に対して助成金を交付しているが、富士宮市は土地の高低差が大きく農地も小規模のものが多く見受けられ、一か所に農地を集積しづらい環境にある。今後の農業政策をどのように考えていくのか、以下伺う。</p> <p>(1) 富士根地区の農地集積はどの程度進んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 担い手不足が明らかになっているが、集積した農地をどのように受け継いでもらい、富士宮で農業の魅力をもどのように発信していくのか。</p> <p>(3) 令和4年に県内東部地区の8JAが合併し、JAふじ伊豆となったが、農業施策について行政との話し合いは合併前とどのように変わり、未来につなげていくのか。</p> <p>(4) 国では遊休農地を活用した大規模農業団地の整備による先進農業の拠点づくりを進めているが、富士根地区に農業団地を整備し、モデル事業として進めることはできないか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	歴史ある神社の継承を考える	<p>富士宮市内各地で祀られている神社について、中には由緒正しい歴史がある神社もある。人口減少や高齢化の影響で、氏子の方々の減少や地域で守れなくなっている神社が見られる中、神社を閉じる苦渋の決断をしているところもある。今後の対応と継承をどのように考えるか、以下伺う。</p> <p>(1) 市内には現在どのくらいの神社が祀られているのか。</p> <p>(2) 由緒ある神社の把握はできているのか。</p> <p>(3) 未来に伝承するために、市としてできる施策は考えられないか。</p> <p>(4) 神社をやむを得ず閉めなければならない場合、その後の措置はどのようにするのか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
3	魅力的な富士宮のまつりを考える	<p>コロナ禍以前のイベントに戻りつつある富士宮のまつりだが、運営やまつりの進め方などは以前とは少し違うようである。御神火まつりでは、神輿が神田川を上がる時の栈敷席は賑わっているものの、パレードをしている時は閑散としている。また、宮おどりは熱中症対策で小中学校の部がなくなり、協力していただいていた保護者がいないので、夜の大人の部でも観客が少なく感じる。先日行われた富士宮まつり秋宮では、トイレを貸してくれる店舗が少なくなり問題となったが、以下伺う。</p> <p>(1) 観客の減少を食い止めるには、どのようなことをやっていけばいいか。</p> <p>(2) インバウンド客に来てもらうには、旅行会社などに富士宮のまつりの魅力を伝えることが重要になるが、現在どのように発信をしているか。</p> <p>(3) 宮おどりの小中学生の部が、熱中症対策のため取り止めとなっているが、この先の宮おどりを考えると、大人の部にこども枠を作るなどしていかないと、継承していけなくなると思うがいかがか。</p> <p>(4) コロナ禍の影響で、トイレを貸してくれる協力店舗が少なくなっているが、仮設トイレの設置など考えられないか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長